

## 兵庫県立大学社会情報科学部規程第1号

### 社会情報科学部学部規程

(趣旨)

第1条 この規程は、兵庫県立大学学則(平成25年公立大学法人兵庫県立大学規程第75号。以下「学則」という。)に基づき、兵庫県立大学社会情報科学部(以下「本学部」という。)の教育課程及び履修方法等に関して必要な事項について定めるものとする。

(専決事項の規定)

第2条 公立大学法人兵庫県立大学決裁規程(平成25年公立大学法人兵庫県立大学規程第6号)第4条に規定する専決事項として社会情報科学部長(以下「学部長」という。)が専決するものについて、この規程においては、学部長が許可又は決定を行うものとして規定する。

(教育研究上の目的)

第3条 本学部は、情報科学を軸として、高度化・複雑化が続く社会における課題を解決する社会情報科学の教育と研究を行うことを目的とする。情報科学技術に関する確かな知識・技能、実践的な情報処理能力とデータ分析能力を身につけ、ビッグデータを分析・活用し、経済動向の予測、社会政策の立案、企業における経営戦略・マーケティング・生産性向上などの分野で貢献する人材を育成する。

(授業科目)

第4条 授業科目は、全学共通科目、専門基礎科目及び専門教育科目とする。

(全学共通科目)

第5条 全学共通科目に係る授業科目、単位数その他履修に関する事項は、別表第1に定めるところによる。

(専門基礎科目)

第6条 専門基礎科目に係る授業科目、単位数その他履修に関する事項は、別表第2に定めるところによる。このほか、必要に応じて1単位又は2単位の特殊講義を開くことができる。

(専門教育科目)

第7条 専門教育科目に係る授業科目、単位数その他履修に関する事項は、別表第3に定めるところによる。このほか、必要に応じて1単位又は2単位の特殊講義を開くことができる。

(単位の計算)

第8条 学則第11条第1項第1号及び第2号の規定による専門基礎科目及び専門教育科目の単位の計算は、次の基準のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。

2 学則第11条第1項第3号の規定により、一の授業科目を講義、演習、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組合せに応じ、前項に規定する基準を考慮した時間数をもって1単位とする。

(履修科目の登録及び取消)

第9条 学生は、履修しようとする授業科目については、所定の期日までに履修登録を行わなければならない。

2 学生は、履修取消期間中に、履修登録した授業科目の取消を行うことができる。ただし、必修科目については取消を認めない。

3 合格した科目については、履修科目の登録を行うことができない。

4 各学期において履修科目の登録を行うことのできる単位数は、24単位以内とする。ただし、教育的観点から申し合わせた授業科目については、履修上限の対象外とする。単位数の計算は、通年科目にあつてはその単位数に2分の1を乗じて得た数を当該科目の単位数として行う。

5 4回生以上の学生については、履修指導に基づいて履修科目の登録を行うこととする。

6 第4項の規定にかかわらず、成績優秀であつて学部長が特例として許可したときは、2年

次及び3年次の各学期において、履修科目の登録を行うことができる単位数を、28単位以内と読み替えることができる。

7 前項に規定する学部長が許可する基準については、別に定める。

(他学部の授業科目の履修)

第10条 学生は、他学部における授業科目を履修しようとするときは、他学部授業科目履修許可願を所定の期日までに学務所管課に提出し、学部長の許可を得なければならない。ただし、国際商経学部の経済学コース及び経営学コースの授業科目を履修しようとするときは、国際商経学部の経済学コース及び経営学コースの学生だけが履修できる授業科目を除き、この限りではない。

2 学部長は、前項の規定により、他学部の授業科目の履修に係る許可をする場合にあっては、関係学部長に協議しなければならない。

3 第1項の規定により履修した授業科目のうち、学部長が相当と認めるものについては、教授会の意見を聴いた上で、卒業所要単位数に算入することができる。

(他大学等における修得単位の認定)

第11条 学部長は、教育上有益と認めるときは、他の大学（短期大学を除く。以下同じ。）、「短期大学、高等専門学校その他別に定める機関（以下これらを「大学等」という。）と本学との協定に基づき、教授会の意見を聴いた上で、学生に当該大学等の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により、学生が、履修した授業科目について修得した単位数は、60単位を超えない範囲で本学部における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

3 前2項の規定により認定された単位数は、別表第1から別表第3に定める卒業所要単位数に算入することができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第12条 学部長は、教育上有益と認めるときは、教授会の意見を聴いた上で、学生が、本学部に入学前する前に他の大学等において履修した授業科目について修得した単位を、本学部に入学期後の本学部における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により認定することができる単位数は、前条第2項の規定により認定する単位数と合わせて、60単位を超えないものとする。

3 前2項の規定により認定された単位数は、別表第1から別表第3に定める卒業所要単位数に算入することができる。

4 学生は、入学前の既修得単位の認定を受けようとするときは、既修得単位認定願を所定の期日までに学務所管課に提出しなければならない。

(転学部)

第13条 学部長は、学生が転学を希望する旨を申し出たときは、教授会の意見を聴いた上で、これを許可することができる。

2 学部長は、前項の規定により転学部を許可する場合は、関係学部長と協議しなければならない。

3 本学部の学生で転学部を希望する者は、所定の期日までに、転学部許可願を学務所管課に提出しなければならない。

(転学部の出願資格、受入年次及び既修得単位の扱い)

第14条 学部長は、他学部の学生で、本学部への転学部を希望する者がいるときは、教授会の意見を聴いた上で、これを許可することができる。

2 本学部へ転学部することができる者は、所属していた学部において40単位以上を修得していなければならない。

3 本学部への転学部を許可された者の受入年次及び既修得単位の扱いについては、教授会の意見を聴いた上で、学部長が決定する。

(試験)

第15条 授業科目の評価は、原則として試験により行う。ただし、学部長が試験以外の方法が適当

と認める場合には、他の方法をもって行うことができる。

- 2 学生は、履修科目の登録をした授業科目でなければ試験を受けることができない。
- 3 卒業研究の審査は、論文等で行う。

(成績)

第16条 授業の成績は、試験の結果及び日常の学修状況を総合して、次の基準により評価する。

- (1) 成績は100点満点とし、60点以上をもって合格とする。
- (2) 合格した科目には所定の単位を与える。
- (3) 合格した科目の成績は、S、A、B及びCの評語をもって表し、その区分及び評価の基準は次のとおりとする。

評語	区分	評価の基準
S	90点以上	到達目標を十分に達成できている非常に優れた成績
A	80点以上90点未満	到達目標を十分に達成できている優れた成績
B	70点以上80点未満	到達目標を達成できている成績
C	60点以上70点未満	到達目標を最低限達成できている成績

- 2 合格した科目については、再評価しない。
- 3 休学期間中に開講されている授業科目については、その単位を認めない。
- 4 第11条及び第12条に規定する授業科目の評価は認定をもって表す。

(PBL演習Ⅱの履修に係る条件)

第17条 学生は、PBL演習Ⅱを履修するためには、本学部に1年6か月以上在学し、PBL演習Ⅰ及びデータ分析演習を修得しなければならない。

(卒業研究の履修に係る条件)

第18条 学生は、卒業研究を履修するためには、本学部に3年以上在学し、基礎演習、PBL演習Ⅱ、研究演習Ⅰ及び研究演習Ⅱの単位を修得しなければならない。

(卒業)

第19条 学生が本学部の教育課程を修了するには、合計124単位以上を修得しなければならない。その中に、別表第1から別表第3に定める卒業所要単位を含むものとする。

- 2 学部長は、本学部に3年以上在学し、第1項に規定する卒業所要単位以上を優秀な成績で修得した者について、その願い出に基づき、教授会の意見を聴いた上で、卒業（以下「早期卒業」という。）を認定することができる。
- 3 前項に規定する早期卒業に関して必要な事項は、別に定める。

(他の規程への委任)

第20条 この規程に定めるもののほか、履修方法については、本学部の他の規程の定めるところによる。

附 則

(施行期日)

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

別表第1 (第5条関係)

全学共通科目

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考	
			必修	選択		
自主自律 支援科目	基礎演習	1・2・3・4	2		2単位必修。	
	キャリアデザイン入門	1・2・3・4		2		
全学共通科目 グローバル化時代のアカデミックスキル科目	英語	【英語コア科目】			6単位必修。	
		Reading and Discussion 1	1・2・3・4	1		
		Reading and Discussion 2	1・2・3・4	1		
		Listening and Speaking 1	1・2・3・4	1		
		Listening and Speaking 2	1・2・3・4	1		
		Writing 1	1・2・3・4	1		
		Writing 2	1・2・3・4	1		
	【選択英語科目】				2単位選択必修。	
	TOEIC English 1	2・3・4		1		
	TOEIC English 2	2・3・4		1		
	TOEFL English 1	2・3・4		1		
	TOEFL English 2	2・3・4		1		
	Business English 1	2・3・4		1		
	Business English 2	2・3・4		1		
	英語海外研修	1・2・3・4		2		
	【副専攻（グローバルリーダー教育プログラム）科目】				副専攻履修者のみ受講可。	
	英語実習	1		1		
	英語表現	1		1		
	外国語	中国語 1	1・2・3・4		1	日本語・日本文化については、外国人留学生を対象とする。
		中国語 2	1・2・3・4		1	
フランス語 1		1・2・3・4		1		
フランス語 2		1・2・3・4		1		
ドイツ語 1		1・2・3・4		1		
ドイツ語 2		1・2・3・4		1		
スペイン語 1		1・2・3・4		1		
スペイン語 2		1・2・3・4		1		
韓国・朝鮮語 1		1・2・3・4		1		
韓国・朝鮮語 2		1・2・3・4		1		
日本語・日本文化 1		1・2・3・4		1		
日本語・日本文化 2		1・2・3・4		1		
中国語海外研修		1・2・3・4		2		
統計・ 情報	情報処理基礎	1・2・3・4	2		4単位必修。	
	情報科学概論	1・2・3・4	2			

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考	
			必修	選択		
教養教育科目	人間性の基盤教育科目 人と文化	哲学概論	1・2・3・4		2	人と文化から2単位以上修得。
		論理学	1・2・3・4		2	
		倫理学概論	1・2・3・4		2	
		心理学	1・2・3・4		2	
		認知行動心理学	1・2・3・4		2	
		世界文学	1・2・3・4		2	
		日本文学	1・2・3・4		2	
		教育学	1・2・3・4		2	
		日本史	1・2・3・4		2	
		東洋史	1・2・3・4		2	
		環境芸術論	1・2・3・4		2	
		芸術学	1・2・3・4		2	
		文化人類学	1・2・3・4		2	
		World Literature	1・2・3・4		2	
		Japanese Literature	1・2・3・4		2	
		Cultural Anthropology	1・2・3・4		2	
	人間性の基盤教育科目 人と社会	法学	1・2・3・4		2	人と社会から2単位以上修得。
		政治学	1・2・3・4		2	
		社会学	1・2・3・4		2	
		男女共同参画社会	1・2・3・4		2	
		経済学	1・2・3・4		2	
		日本国憲法	1・2・3・4		2	
		自然地理学	1・2・3・4		2	
		ひょうごの子育て支援	1・2・3・4		2	
		Law	1・2・3・4		2	
		Sociology	1・2・3・4		2	
	人間性の基盤教育科目 人と自然	医療と工学のフロンティア	1・2・3・4		2	人と自然から2単位以上修得。
		自然科学概論	1・2・3・4		2	
		生命倫理	2・3・4		2	
		生命概論	1・2・3・4		2	
		ライフサイエンス論	1・2・3・4		2	
		数学	1・2・3・4		2	
		統計学	1・2・3・4		2	
		放射光科学のフロンティア	1・2・3・4		2	
		生命科学入門	1・2・3・4		2	
		Nature and Life	1・2・3・4		2	
	人間性の基盤教育科目 人と健康	健康・スポーツ科学演習 1	1・2・3・4		1	
		健康・スポーツ科学演習 2	1・2・3・4		1	
		ヒューマンヘルスサイエンス	1・2・3・4		2	

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考		
			必修	選択			
教養教育科目	ひょうご県大特色科目 地域課題探究科目	ひょうご地域課題概論	<u>1</u> ・2・3・4		2	地域課題探究科目、	
		地域創造論Ⅰ	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	グローバル教育科目、	
		地域創造論Ⅱ	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	防災教育科目のうち、	
		兵庫県の行政	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	2科目群から4単位	
		地域プロジェクト概論	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	以上修得。	
		地域社会とマネジメント	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2		
		地域社会と健康	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2		
		地域資源マネジメント概論	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2		
		地域気候と住環境	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2		
		兵庫の里山	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2		
		ジオパークと地域	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2		
		共生博物学	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2		
		緑景観マネジメント論	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2		
		地域資源フィールドワーク (田園生態系の保全と再生)	3・4		2		
		地域資源フィールドワーク (ジオパークの地質と文化)	3・4		2		
		Introduction to Regional Project	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2		
		Introduction to Community Planner	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2		
		【副専攻（地域創造人材教育プログラム）科目】					副専攻履修者のみ受講可。
		フィールドワーク基礎技術演習1 (注1)	<u>1</u> ・2・3		1		(注1) ひょうご地域課題概論を履修し、単位修得していること。
		フィールドワーク基礎技術演習2 (地域と暮らし) (注2)	<u>1</u> ・2・3・4		1		(注2) フィールドワーク基礎技術演習1を履修していること。
フィールドワーク基礎技術演習2 (但馬他) (注2)	<u>2</u> ・3・4		1				
地域プロジェクト実践論(注3)	<u>2</u> ・3・4		2		(注3) フィールドワーク基礎技術演習1を履修し、単位修得していること。		
地域プロジェクト演習(注4)	<u>2</u> ・3・4		2		(注4) 地域プロジェクト実践論を履修し、単位修得していること。		

備考 開講年次欄の下線は、履修が望ましい年次である。

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
教養教育科目 ひょうご県大特色科目	比較文化論	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	国際関係論入門	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	現代の日本経済	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	現代の経営問題	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	文章表現論	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	多文化社会論	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	宗教概論	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	日本文化論	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	グローバルリーダー入門	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	グローバルヒストリー	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	グローバル市民社会論	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	Comparative Culture	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	History of Japanese Thought	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	【副専攻（グローバルリーダー教育プログラム）科目】				副専攻履修者のみ受講可。
	グローバル教養概論	1		2	
	グローバル教養海外実践	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	多文化を学ぶ	1		2	
	日本の歴史や文化を学ぶ	1		2	
	日本の思想を学ぶ	1		2	
	先端科学を学ぶ	1		2	
防災教育科目	地球の営みと災害	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	兵庫の歴史と自然災害史	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	生活と防災	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	社会特性と減災復興	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	兵庫の災害と防災	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	災害支援とボランティア	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	減災復興まちづくり	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	災害現場と防災	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	Disaster Resilience and Social Innovation	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
	Urban and Regional Issues in Disaster Reduction	<u>1</u> ・ <u>2</u> ・3・4		2	
他専攻科目	※他キャンパスが開設する科目について、必要に応じて開講する。修得した単位は全学共通科目の単位となる。				
必要単位数を設定していない選択科目と、必要単位数を超えて修得した選択科目の合計単位数					4単位以上
卒業所要単位					28単位以上

備考 開講年次欄の下線は、履修が望ましい年次である。

別表第2（第6条関係）

専門基礎科目

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
必修	社会情報科学概論	<u>1</u> ・2・3・4	2		22単位必修。
	社会情報科学のための数学	<u>1</u> ・2・3・4	2		
	微積分 I	<u>1</u> ・2・3・4	2		
	線形代数 I	<u>1</u> ・2・3・4	2		
	確率・統計	<u>1</u> ・2・3・4	2		
	プログラミング I	<u>1</u> ・2・3・4	2		
	経営データ概論	<u>1</u> ・2・3・4	2		
	プログラミング II	<u>2</u> ・3・4	2		
	データ構造とアルゴリズム	<u>2</u> ・3・4	2		
	経済データ概論	<u>2</u> ・3・4	2		
	情報倫理と法	<u>2</u> ・3・4	2		
卒業所要単位					22単位

備考 開講年次欄の下線は、履修が望ましい年次である。



別表第3 (第7条関係)

専門教育科目

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考	
			必修	選択		
情報科学関連科目	必修	情報技術の最前線	<u>2</u> ・3・4	2	8単位必修。	
		人工知能	<u>2</u> ・3・4	2		
		データマイニング	<u>2</u> ・3・4	2		
		機械学習	<u>3</u> ・4	2		
	選択必修	微積分Ⅱ	<u>2</u> ・3・4		2	8単位以上修得。
		線形代数Ⅱ	<u>2</u> ・3・4		2	
		情報マネジメント	<u>2</u> ・3・4		2	
		プログラミングⅢ	<u>2</u> ・3・4		2	
		経営情報システム	<u>2</u> ・3・4		2	
		情報アクセスシステム	<u>3</u> ・4		2	
		システム管理	<u>3</u> ・4		2	
		コンピュータネットワーク	<u>3</u> ・4		2	
		情報セキュリティ	<u>3</u> ・4		2	
		ソフトウェア開発論	<u>3</u> ・4		2	
		計算理論	<u>3</u> ・4		2	
情報メディア論	4		2			
データ分析関連科目	必修	データ分析の最前線	<u>1</u> ・2・3・4	2	8単位必修。	
		データ分析演習	<u>2</u> ・3・4	2		
		社会データ分析	<u>3</u> ・4	2		
		政策データ分析	<u>3</u> ・4	2		
	選択必修	多変量解析	<u>2</u> ・3・4		2	4単位以上修得。
		医療福祉情報論	<u>2</u> ・3・4		2	
		データ可視化	<u>3</u> ・4		2	
		地理情報システム	<u>3</u> ・4		2	
		社会調査法	<u>3</u> ・4		2	

備考 開講年次欄の下線は、履修が望ましい年次である。

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考	
			必修	選択		
意思決定 関連科目	必修	数理モデリング	<u>2</u> ・3・4		2	4単位必修。
		オペレーションズ・リサーチ	<u>2</u> ・3・4		2	
	選択必修	統計的モデリング	<u>3</u> ・4		2	2単位以上修得。
		最適化理論	<u>3</u> ・4		2	
		グラフ理論	<u>3</u> ・4		2	
意思決定論		4		2		
社会 関連 基本科目	選択必修	経営学概論	<u>1</u> ・2・3・4		2	4単位以上修得。
		会計学概論	<u>1</u> ・2・3・4		2	
		簿記論Ⅰ	<u>2</u> ・3・4		2	
		ミクロ経済学Ⅰ	<u>2</u> ・3・4		2	
		マクロ経済学Ⅰ	<u>2</u> ・3・4		2	
		簿記論Ⅱ	<u>2</u> ・3・4		2	
		ミクロ経済学Ⅱ	<u>2</u> ・3・4		2	
		マクロ経済学Ⅱ	<u>2</u> ・3・4		2	
社会 関連 発展科目	選択必修	経済政策論Ⅰ	<u>3</u> ・4		2	4単位以上修得。
		経営戦略論	<u>3</u> ・4		2	
		マーケティング論	<u>3</u> ・4		2	
		経済政策論Ⅱ	<u>3</u> ・4		2	
		マクロ経済学Ⅲ	<u>3</u> ・4		2	
		財務情報分析論	4		2	
		ものづくり経営学	4		2	
		消費者行動論	4		2	
原価計算論	4		2			
演習 科目	PBL演習Ⅰ	<u>1</u> ・2・3・4		2	2単位必修。	
	PBL演習Ⅱ	<u>2</u> ・3・4		2	2単位必修。 PBL演習Ⅱを履修するためには、PBL演習Ⅰ及びデータ分析演習を修得していること。	
	研究演習Ⅰ	<u>3</u> ・4		2	2単位必修。	
	研究演習Ⅱ	<u>3</u> ・4		2	2単位必修。	
	卒業研究	4		4	4単位必修。 卒業研究を履修するためには、基礎演習、PBL演習Ⅰ、データ分析演習、PBL演習Ⅱ、研究演習Ⅰ及び研究演習Ⅱを修得していること。	
卒業所要単位					54単位以上	
必要単位数を超えて修得した専門教育科目の単位					20単位以上	
卒業所要単位合計					124単位以上	

備考 開講年次欄の下線は、履修が望ましい年次である。